

第八話 記号医療の消費

ネットにめまいがするほどたくさんのイカサマクリニックが並んでいるということは、そのイカサマ医療を受けている患者がもっとたくさんいるということです。なぜでしょう。なぜ多くの方はイカサマ医療にハマるのでしょうか。今回はハマる側の論理を考えてみましょう。

ユダヤ人のハラリ氏が十年前に『サピエンス全史』を著すと、たちまち世界中でベストセラーになりました。500頁超の大作ですが、その中心テーマは、なぜ人間が生き残りに成功したのかです。もちろん火の使用や農業にも触れていますが、注目は「虚構を信じる力」です。これが『サピエンス全史』の革新的なところ。ハラリの語る「虚構」の最大のものが宗教です。ひとつの宗教や神話を信じることによって、知らない者同士でも大集団をつくるのが可能になり、人間は一体となって行動することに成功したというのです¹。宗教が真実なら驚くに当たりませんが、虚構であってもその虚構を真実であるかのように鵜呑みにできることが人間の特性、とハラリは断じているのです。『サピエンス全史』を読むと、多くの患者がイカサマ医療を信じることも、人間のこの虚構を鵜呑みにする本性に依るのだらうとわかってきます。

すべての宗教のあらゆる信者はこの部分まで『サピエンス全史』を読み進むと、途中で本を閉じてしまうかも知れません。ハラリが信仰を冒涇しているからです²。しかし『サピエンス全史』は閉じて、もう少し、私が昔から思っている次のような小さな疑問に付き合ってください。

昔から私は、日本の各地にある七福神が気になっています³。なぜ日本人は七福神を日本中で祭っているか。私が現在勤める茨城県古河市の西隣には日本最大の渡良瀬遊水地が広がっていますが、そこにランニングで向かう時にも弁財天を祭ったお寺の前を通ります⁴。弁財天は七福神の中で紅一点の神ですが、実は異教の神で、仏教がヒンズー教からレンタルしているものです。日本人はヒンズー教の神が仏寺にいても、何も気にしないようです。七福神のなかのもう一人、大黒天もヒンズー教からのレンタルです。大黒天は最澄が遣唐使として中国に留学し、日本に持ち帰って祭ったことが起源と言われています。最澄は異教の神を仏寺に祭るという奇妙なことをしましたが、もっと奇妙なのは、そもそも釈迦は偶像崇拜を禁じていることです⁵。ヒンズー教からレンタルしている神は七福神の中に合計

¹ たとえば、2022年にウクライナはクリスマスを従来の1月7日から12月25日に変更する法律改正をして、ロシアとの違いをことさらにつくり出してEUに寄せた。

² 世界の85%の人が信仰を持っている

<https://www.nature.com/articles/d41586-024-02153-7>

³ <https://dive-hiroshima.com/events/events-54648/> 七福神の一人、恵比寿を広島では「えべっさん(胡)」と呼んで毎年大きな祭りをする

⁴ 「古河七福神」の旗が立っているので、古河市にも七福神を祭った七つの寺が揃っているようだ。

⁵ ガンダーラでギリシャ彫刻・ヘレニズムの影響を受けた後世の人たちが、仏像を創り始め、

三人もいて、さらに中国・道教からのレンタルも二人います。唯一国産の神が恵比寿天ですが、これも異教である神道からのレンタルです。レンタルではない仏教オリジナルの神が布袋尊ただ一人です。ただし彼は本当は神ではなく唐代に実在した中国人僧侶です。そもそも仏教では偶像も神もないはずなのに、最澄と同時期に唐に留学した空海は密教⁶の神をそっくり持ち込んで、二人そろって仏教の神をぐちゃぐちゃにしています⁷。こんなカラフルな出自の七福神を眺めてみると、さらにカラフルな未来も予想できます。毎年クリスマスで盛大にイエスの誕生を祝う日本人ですから、近い将来、ザビエルなんぞを七福神に加え「八福神」として寺で祭るに違いないのです⁸。

真面目に考えれば考えるほど、信仰からは遠離ってしまいます。そもそも虚構は、深く考えるのではなく、鵜呑みにすることが基本です。ハリは虚構を鵜呑みにする能力こそ人間の特性と言っているのです。そして静注ビタミン C 療法も、患者たちは真面目に考えて治療を受けているのではなく、白衣を着た布教者たちの福音を鵜呑みにしているだけなのです。

ここでハリは虚構を、二つに分けることを私は提案します。その一つは、虚構を虚構と知らず、人々が真実と信じている虚構です。ハリは宗教をそんな虚構の代表としましたが、私は「野口英世」を代表としましょう。野口については前回も触れましたが、私が20年前に公に「虚構だ」と大声で叫んだのに⁹、残念ながら千円札の肖像が変わることはありませんでした。日本銀行も大多数の日本国民も、野口の業績が虚構であることを今も知らないのです。子供の頃に読んだ野口の伝記童話を鵜呑みにしているだけなのです。

虚構には、野口英世や宗教のように鵜呑みにしている「第一の虚構」とは別に、人々が虚構であると理解して受け入れている合理的な虚構もあります。この「第二の虚構」は、たとえば法律¹⁰です。昔の法律は、神が法律を人に与えてくれたと鵜呑みにしていましたが、今は、人間が法律を”適当”に創っていることを知っています¹¹。そんな法律も虚構は虚構ですから、時代とともに都合が悪くなった法律は人間がいくらでも”適当”に創り変えることが

大乘仏教を創作した。

⁶ 「神は死んだ」とキリスト教を断罪したニーチェが、同時にイエスの生き方を高く評価していることはあまり知られていない。イエスの死後、キリスト教を創作したのはパウロなどイエスの弟子たち。同じように、釈迦の死後に創作された大乘仏教や密教を釈迦から切り離すと仏教も理解しやすくなるのに、と私は思う

⁷ イスラム教、キリスト教、ユダヤ教も、最後の審判や天地創造の物語をゾロアスター教からレンタルしている。宗教界ではレンタルはよくあることのように、最澄と空海の際立つ所業というわけではない。

⁸ インドと中国では「八福神」が本来

⁹ 週刊現代の連載一回分をまるまる使って糾弾した。2024年7月に肖像は刷新されたが、インチキ医学者が長くお札に載った歴史は永遠に消えない。

¹⁰ 1990年代に「なぜ人を殺してはいけないのか」という議論が日本で流行したが、これも「第一の虚構」ではなく、「第二の虚構」に関わる問題だとわかることで理解は進む。

¹¹ 右側通行と定めようと左側通行と定めようと、それは”適当”である。人を殺すことの是非ですら虚構であり、”適当”に創られている。その証拠に、日本は条件がそろえば殺人は合法(死刑制度)。

できます。天皇制も、今日の日本人は「第二の虚構」だと知っています¹²。貨幣も、虚構なのに虚構と忘れてしまうくらい私たちの生活に染み付いた虚構ですが、やはり虚構なので、一歩日本の外に出ると両替をしない限り紙くずになってしまいます¹³。人間が虚構と理解している「第二の虚構」は、適切に管理していればとても便利な道具です。「第二の虚構」も本当は実在しないけれど、実在することにしようという人間社会の約束事です。ハラリが次著『ホモ・デウス』では、虚構(物語)に依らない生き方を勧めています。それは虚構とは気づいていない「第一の虚構」のことであって、虚構と知って活用する「第二の虚構」はこれからも人間社会の有用な道具であり続けるでしょう。

真実であろうと虚構であろうと何であっても人は容易に信じて、この信じる力こそ人間が進化した源泉とするハラリの卓見ですが、ハラリ以前にもハラリと同じような考えを示した人がいると私は考えます。次のような言葉があるからです。

「いなる説明も、嘘であろうと真実であろうと、説明が何もない状況よりは良い」と言ったのは 200 年前のニーチェです。人間は何も説明がない状況に耐えられません。嘘でもよいから説明を欲しているのです¹⁴。あらゆる薬は、効くかもしれないし効かないかもしれない。副作用が出るかもしれないし、出ないかもしれない。事実に基づくそんなあやふやな医者の説明を、患者は欲していないのです。

虚構を虚構であってもまるで真実であるかのように容易に信じてしまう人間の能力こそ、私はイカサマ医療が無くならない要因と考えます。

イカサマクリニックの標榜「ビタミン C のもつ強力な抗酸化作用は、がん細胞に対しては抗がん効果を発揮しますが、正常細胞に対しては、むしろ細胞活動を活性化させることが明らかになっています。」は医者が読めば嘔吐飯ものですが、虚構であっても都合の良い言葉を信じたい素人にとってはわかりやすく力強い言葉なのです。

虚構を虚構と見破るには、理性が必要です。長い間西洋の哲学は、理性をそのよりどころにしてきました。近代の医学も含めた科学・技術の飛躍的な進歩も、また理性の賜物です。ところが最近になって人間の認知には大きな歪みがあることもわかってきました。理性によって、理性自身の歪みが解明され始めています。

2002 年に認知の歪みでノーベル賞を受賞したカーネマンは「人間は、自分の直観を自信過剰なほどに受け入れるようつくられている」と言います。この直観とは「楽をして結論

¹² 東大第一外科の当時の教授が膵臓癌の昭和天皇を手術する際は、厳重な警備がついた。ご神体を傷つけることは蘇我馬子以来の大罪(第一の虚構)とする意見が届いていたからだ。日本の天皇制に次ぐ長い王政がかつてエチオピアにもあったが、1970 年頃にその虚構は突如蒸発した。そもそも第二の虚構であるから、仮に将来、日本人が納得しない天皇制だと思えば、エチオピアのようにこれもあつという間に蒸発してしまうだろう。

¹³ この意味で、野口の千円札だけは「第一の虚構」と「第二の虚構」の二重の虚構でできている

¹⁴ ニーチェは、何の説明もない無意味な人生であってもそれを何度でも受け入れよ、と超人の生き方を勧める。釈迦も「諸行無常、一切行苦」を唱えるが、これを凡人が実践することはなかなか困難。虚構で良いから虚構にすがりたくなる。

を出す」という脳の能力です。たとえばまったくの偶然の出来事に遭遇しても、人はそこに因果関係を直観して創作してしまいます。カーネマンはたくさんの具体例を紹介しています。

① 投資家が三年続けて利益を出すと、天才投資家と評される。実際は、たくさんの投資家の中からたまたま偶然に成功している投資家が注目されているだけ。

投資をしたことのない私がこれを読んで思いつくのは、ジャンケン大会です。たとえば、1000人¹⁵でジャンケントーナメント大会をしたとすれば、必ずその中の一人が10連勝して優勝者になります。もちろんその優勝者であっても、ジャンケンが特別に強いわけではなく、優勝後にまたジャンケンをすれば当然1/2の確率で負けます。

② 成功した企業は、単に運が良かっただけでも、素晴らしい経営手腕と評される

③ どんな政治評論家の予測も、猿より悪的中率しかない(偶然に当たる率よりも低い)

④ 専門家は複雑な情報を何でも取り込もうとするので、その予測は、簡単なアルゴリズムより劣ってしまう

⑤ 「お一人様二十個まで」と制限を受けると、客はより多く買うようになる¹⁶

⑥ 自分が見たものがすべてと考え、たくさん繰り返して見ると、それだけで正しいと直観する

カーネマンは、政治家はみな性欲が強く不倫が多い、と考えたそうです。でもそれは違う、とカーネマンは続けます。政治家の不倫がニュースになりやすいだけのことです。繰り返し多くを目にするとその情報から間違った結論を出してしまいます。「ビタミンC がん」で検索すると、表示されるたくさんのサイトのすべてが高濃度ビタミンC 静注を勧めるので、人はそれだけで素晴らしい治療があると直観してしまいます。

直観は脳のエネルギーを使うことなく結論を出すので、日常生活では重宝する機能ですが、直観は歪んでいることを理解する必要があります。ここぞという時は直観に頼らず、地道に手順を踏んでじっくり考え直してやる必要があるとカーネマンは注意します。本当に高濃度ビタミンC 静注療法は医学的に有利な治療なのか。

⑦ 悪いことは、良いことより二倍くらいに過大に考えてしまう

という直観の特徴もカーネマンは指摘します。冷静に考えれば1万円の損害は1万円の利益で相殺されるはずなのに、2万円の利益が出てやっとプラスマイナスゼロと人間は直観します。損切り¹⁷のできない素人投資家は、不良投資を抱えて首が回らなくなります¹⁸。カーネマンが経済学でノーベル賞を取ると、私は、カーネマンが発見した認知の歪みは医学の現場でも同様のことが言えるのではないかと考えました。患者は皆、素人です。そして病気は損失です。すべての治療は損切り行為なのです。損切りしてあえて損をできるだけ

¹⁵ 正確には2の10乗で1024人

¹⁶ 松竹梅効果も有名。人は三つ並べられると「竹が良い」と直観する。

¹⁷ 「損切り」とは、速やかに損を確定し、損を最小限に食いどめて、次の投資に備えるという投資上の言葉。

¹⁸ バブル期に日本中でこの素人投資家が増え、その後長い間、日本社会はこの損切りできない氷漬けの不良資産で苦しんだ

小さく確定させ、トータルで得をすればよいという合理的な考えですが、素人である患者は損切り行為になかなか踏み出せません。医者は他人の立場ですから、仕事として合理的に冷静に治療の選択肢を提案できますが、たとえば医者が患者になった場合は、途端に冷静さを失って「損切りをためらう患者」になってしまいます。何度も書きますが、患者が馬鹿なのではありません。患者という立場が、患者の認知をゆがめてしまうのです。医者が初めて自身も大病を患うと『医者が患者になってわかったこと』という本をよく書きますが、その多くは損切りをためらう実感体験記だと私は思っています。愚かな人間が損切りをためらうわけではありません。カーネマンの発見は人間の認知の本質に関わっています。

損切りできないのは人間の本質とカーネマンは発見しましたが、私があらゆる治療行為は損切りであると主張するのは、医療行為ができるだけ早期に病気による損害を最小限に確定させ、残りの人生をより良いものにしようとしているからです。「ビタミンCのもつ強力な抗酸化作用は、がん細胞に対しては抗がん効果を発揮しますが、正常細胞に対しては、むしろ細胞活動を活性化させることが明らかになっています。」は医者が読めば嘔吐ものと断じましたが、それはこの文に損切りのかげらもないからです。医療行為を説明する文ではなく、まともな医者という言葉と思えません。このビタミンCを勧める文から連想するのは「善人なおもて往生を遂ぐ、況んや悪人をや」¹⁹のような意表をつく無限に暖かい救いの言葉、つまり「第一の虚構」の演出です。

医療現場で「損切り」を求められても簡単には応じられない、あるいは、イカサマ情報であっても繰り返し繰り返し聞かされると正しいと直観してしまう²⁰ことが、人間の認知の歪みであるとカーネマンは指摘しました。人がイカサマ医療に陥る罠ですが、私はこれを「消極的罠」と考えます。もう一つ、イカサマ医療には別の「積極的罠」も仕込まれています。それはモノの価値に関する罠です。

モノの価値とは何か。マルクスは「使用価値」こそモノの価値だと分析しました²¹。日本の医療現場で考えると、マルクスの唱える使用価値は当然のことです。あらゆる医療行為はその使用価値で決まります。それ以外に、医療にどんな価値があるというのでしょうか。良い薬には、使って副作用が少なく使用後の効果が大きい、という使用価値があります。良い手術には、負担が少なく手術後の後遺症が少なくそれでいて治療効果は大きい、という使用価値があります。あらゆる医療行為はその使用価値で医療行為の是非が決定されます。

しかしモノの価値は、この使用価値だけではありません。第二の価値は「交換価値」です。たとえば金とか土地とかは、本人にとって何の使用価値がなくても、他人と交換すれば価値が生まれます。自分が使わない家でも、転売すれば儲かるという、あの価値です。仮に自分に処方された薬をため込んで他人に横流しして交換価値を得ようとしても、それ

¹⁹ 親鸞の弟子唯円『歎異抄』より

²⁰ 利用可能ヒューリスティック

²¹ マルクスの解決策「共産主義」は失敗したが、それでも資本主義に関する彼の分析は今日でも輝きを失っていない

はできません。医療で交換価値は犯罪になります。交換価値とはモノが神となる宗教だ、とマルクスは考えましたが、交換価値に関するマルクスの話はこれくらいとしましょう。

第三のモノの価値は、思い出としての価値です。この価値も確かにあります。たとえば昔もらった表彰状。もらった自分でさえ、今さらその表彰状に何の使用価値もありませんし、まして他人には何の意味もないので交換もしません。それでもその古い表彰状には価値があり、一つ一つが遠い過去を思い出させてくれる楽しいモノです(第三の「象徴価値」)。ただこの象徴価値も医療とは無縁です。せいぜい古い手術創を感慨深く撫でるくらいでしょうか。

ここで問題にしたいのはモノの第四の価値、記号としての価値です。ボードリヤールはこれを人間にとってもっとも重要なモノの価値と考えましたが、正直に白状すれば私はあまりこの第四の価値が実感できません²²。それでもなんとなく、多くの人たちにとっては重要な価値なんだろうなと想像はできます。たとえばブランド品。ある服飾家が youtube でユニクロのシャツと、同等の GUCCI のシャツのつくりを比較しています²³。GUCCI のシャツの値段はユニクロの 30 倍もするのに、なんとユニクロの服の方がプロの目から見てつくりが良いと説明しているのです。もしこの youtube の内容が虚偽だとすると GUCCI にとっては営業妨害ですから、GUCCI はこのサイトを制作した人を訴えるべきです。逆に、サイトの内容が真実だとしたら、GUCCI の商品を買ってきた多くの人々は GUCCI を訴えるべきでしょう。でもどちらの訴えも起きていないようです。この状況をボードリヤールなら「訴訟がないのは当然だ」と言います。わざわざユニクロの 30 倍の金を払って劣った GUCCI の商品を買う人たちは、そもそも商品に使用価値など求めていないからです。「自分らしさ」とか「身分²⁴」という記号を消費しているのです。「記号価値」の商売で求められているのは、シャツ販売を介して客を尊い人として敬ってくれる店員の過剰な接客サービスであって、服飾に関する店員の豊富な商品知識ではありません。GUCCI の店員²⁵がもし客のためを思って「GUCCI のシャツは、実はユニクロのつくり以下です」と正確なモノの情報を白状して GUCCI という記号価値を壊すようでは、GUCCI の客は困るのです。価格は高ければ高いほどよいとする記号価値²⁶は、安ければ安いほど良い使用価値とは相反し

²² 発達障害の患者には、他人の目を前提とするこの価値がそもそも希薄

²³<https://www.youtube.com/watch?v=1M4mYkuNb8M> この動画は残念ながら、雑談が長くてとてもじっと見続けることは困難。もう一つの問題は、ユニクロからお金をもらって裏宣伝としてこの youtube を作っているのかもしれない、という可能性。そうでないとしても、一人の専門家の意見がどこまで信頼性があるかは疑問が残る。しかしこれらを考慮しても、このサイトの GUCCI よりユニクロの服の出来の方が良いという専門家の見立ては参考になる。

²⁴ 身分制度がなくなった現代だからこそ、人は新しい身分を保証するモノを求めていると私は考える

²⁵ 「店員」という言葉ですらハウスマヌカンという捏造語で記号価値をつくらうとする努力は涙ぐましい

²⁶ ヴェブレン効果ともいい、100 年前に発見された消費の特性。使用価値を追求し続けている医療現場では全く想像がつかない価値だが、21 世紀になって Rangel らが脳科学的にも正しいことを立証した。価格が脳の満足度に大きく影響しているのだ。

ています。

日本では記号価値を提供することに成功しているベンツですが、ドイツでは普通にタクシー車です。記号価値を追求し続けると、もはや真の価値である使用価値は考慮されなくなり、バーチャルな世界に陥ってしまいます²⁷。仮に GUCCI が、今までの高額の価格を反省してユニクロと同じ価格に改めたとすると、最も困るのが今まで GUCCI に記号価値を求めていた人たちです。自分の「身分」「自分らしさ」「ゆとり」「prestige²⁸」をこれからも長く保証してくれるなら、GUCCI を買う人にとって服飾技術などどうでもよいからです。記号の消費は、交換価値以上に、モノを神と崇める宗教と考えることができます。七福神を八百万(やおよろず)のモノに増やすことなど造作もないことです。

私のような発達障害の患者も、もちろん他人の目を意識することはできます。ただしそれは、他人の目を意識しようとして強く意図した時に限ります。自然に他人の目を意識し続けることはできません²⁹。逆に、発達障害ではない人々を定型発達と呼びますが、定型発達の人は無意識に自然に常時、他人の目を敏感に感じ取り続けています(と本に書いてある)。それはまるで「他人の目の中で人生を送っている」と言っても良いくらいです³⁰。「自分らしさ」を提供してくれる記号価値を使用価値よりも優先させる定型発達の患者がいても、少しも不思議ではありません。

ある著明な経済評論家が StageIV の癌になり、高額な自由診療の免疫療法を受けていると明かしています。しかし彼の文は、普通の末期癌患者のそれと違って、何だか嬉しそうに私には読めます。高額な自由診療が GUCCI の役割を果たしているのではと想像します。彼は少しも理解力のない愚かな人間ではなく、医療の場に突然放り込まれ³¹、それでも「自分らしさ」を発揮できる場がみつかって嬉しいのではと想像します。それに信仰は人を強くします。記号価値の消費というモノ崇拝も、他の信仰と同様、笑って死ぬことさえ可能にするほど人を強く変身させるのです。ハラリの虚構を鵜呑みにする人間の能力は、記号化した医療でもいかに発揮されます。

²⁷ セカンドライフ、メタバースのようなバーチャル世界に没入しなくても、現代社会は十分に記号価値でバーチャル化されている、と私は考える。現代社会の中では、逆にまだバーチャル化されていないものを数え上げる方が早い。たとえばそれは天災であり事故であり病気だ。イカサマ医療は病気のバーチャル化、記号価値化を目指していると考えればわかりやすい。

²⁸ prestige 社会的地位、名声、威信

²⁹ 東大入試の現代国語を発達障害の患者が解く時には、秘策がある。その時だけ、自分の目を捨て、他人の目に置き換えるのだ。どれだけ他人の目になりすますことができるかが現代国語で求められている能力だ。入学試験では、決して自分の目でみて自分の頭で考えて答えてはならない。高校の現代国語の教師たちは誰もこの秘策を教えず、私に赤点すれすれの成績を与え続けた。

³⁰ 定型発達の患者はもともと「自分らしく生きること」が困難なので、記号価値を利用することで商品化された「自分らしさ」を享受しようとしている

³¹ 米国と違い完全平等の日本の医療制度では、記号を消費することなど不可能。それまでずっとすべての場で記号価値の消費を続けてきた人にとって、日本の医療現場は例外的に、きっと悪臭のする貧民窟のような状況に感じられるに違いない。高額な自由診療になった途端、彼らはきっと生き返ったかのように、胸一杯に息ができるようになる。

七福神をありがたがり、野口の千円札を許容する社会が、ビタミンC療法を容認しても何の不思議ありません。ここまで考えると高濃度ビタミン静注療法の問題は、たとえば統一教会の霊感商法問題とそっくりだと理解できます。統一教会は一般の宗教とは間違っている、と指摘することはできるかもしれませんが、「第一の虚構」であることは共通しています。イカサマ医療を撲滅することは、イカサマ千円札や七福神を撲滅することくらいに困難です。

「いいじゃないの幸せならば」と歌いながら高額のイカサマ治療を謳歌している人の頬を叩いて、目覚めさせることが果たして良いことなのか。それはサピエンスの全歴史をひっくり返すくらいに革命的なことです。統一教会に何千万円も寄付をして「幸せな人生だ」と思っている人を罵倒することは、マルクスやニーチェやハラリにしかできません。

しかしイカサマ医療で被害を受けたという人の声を聞き、その救済を考えることなら可能です。被害を受けたと気付く最初の一步は、本人が踏み出すのを待つ必要があります。本人が救済を求めるなら、その方法はいくらでも思いつきます。